

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【公開番号】特開2007-159964(P2007-159964A)
 【公開日】平成19年6月28日(2007.6.28)
 【年通号数】公開・登録公報2007-024
 【出願番号】特願2005-363125(P2005-363125)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 2 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月5日(2008.11.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域に発射された遊技球が所定の始動領域へ入賞すると始動入賞記憶として所定数を上限に記憶し、前記始動記憶を消化しながら補助遊技を実行するとともに、前記補助遊技の遊技結果に対応して遊技者に特典を付与する遊技用装置と、

前記遊技用装置から遊技に関する情報を収集する遊技情報収集手段と、を備え、

前記遊技用装置は、前記遊技領域に発射された遊技球の数を特定するアウト球数情報、前記始動領域へ入賞した遊技球の数を特定する始動入賞数情報、及び、実行された前記補助遊技の回数を特定する補助遊技実行回数情報を前記遊技情報収集手段へ出力する遊技管理システムにおいて、

前記遊技情報収集手段によって収集された情報に基づいて、前記始動領域へ入賞した遊技球の数と、実行された前記補助遊技の回数との相関関係を求める相関関係算出手段と、

遊技場が目標とする営業成績に関わる目標情報を入力する目標情報入力手段と、

前記始動領域へ遊技球が入賞する頻度の設定値を、前記相関関係に基づき前記目標情報に対応させて算出する入賞頻度設定値算出手段と、を備えることを特徴とする遊技管理システム。

【請求項 2】

前記相関関係算出手段は、前記遊技領域に発射された所定数の遊技球あたりの前記始動領域へ入賞した遊技球の数である単位始動入賞数と、前記遊技領域に発射された所定数の遊技球あたりの前記補助遊技の実行回数である単位補助遊技実行回数との相関関係を、過去の単位始動入賞数及び過去の単位補助遊技実行回数を用いて、所定の関数によってモデル化して求めることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技管理システム。

【請求項 3】

期間を特定する期間特定情報を記憶する期間特定情報記憶手段を備え、

前記相関関係算出手段は、前記期間特定情報と対応付けて前記相関関係を求めることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技管理システム。

【請求項 4】

前記期間特定情報は、曜日であることを特徴とする請求項 3 に記載の遊技管理システム

。

【請求項 5】

前記遊技情報収集手段によって収集された情報を、時間帯と対応付けて記憶する時間帯別情報記憶手段を備え、

前記相関関係算出手段は、前記時間帯別情報記憶手段に記憶された情報に基づいて前記相関関係を求めることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか一つに記載の遊技管理システム。

【請求項 6】

前記遊技情報収集手段によって収集された情報を、前記遊技領域に発射された所定数の遊技球と対応付けて記憶するアウト球数別情報記憶手段を備え、

前記相関関係算出手段は、前記アウト球数別情報記憶手段に記憶された情報に基づいて前記相関関係を求めることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか一つに記載の遊技管理システム。

【請求項 7】

前記遊技情報収集手段によって収集された情報を、前記遊技用装置の機種を特定する機種情報と対応付けて記憶する機種情報記憶手段と、

所定の入力操作によって前記目標情報の対象となる機種を特定する機種特定手段と、を備え、

前記相関関係算出手段は、前記遊技情報収集手段によって収集された情報のうち、前記機種特定手段によって特定された機種の遊技用装置から収集された情報が所定量より少ない場合は、当該機種の遊技用装置から収集された情報に当該機種以外の他の機種の遊技用装置から収集された情報を追加した情報に基づいて前記相関関係を求め、前記遊技情報収集手段によって収集された情報のうち、前記機種特定手段によって特定された機種の遊技用装置から収集された情報が存在しない場合は、当該機種以外の他の機種の遊技用装置から収集された情報のみに基づいて前記相関関係を求める代用機種相関関係算出手段を備えることを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか一つに記載の遊技管理システム。

【請求項 8】

遊技用装置の仕様を機種ごとに出力する仕様出力手段と、

所定の入力操作によって前記他の機種を特定する代用機種特定手段と、を備え、

前記代用機種相関関係算出手段は、

前記機種特定手段によって特定された機種の遊技用装置から収集された情報が所定量より少ない場合は、前記仕様出力手段によって遊技用装置の仕様を機種ごとに出力させるとともに、前記機種特定手段によって特定された機種の遊技用装置から収集された情報に前記代用機種特定手段によって特定された機種の遊技用装置から収集された情報を追加した情報に基づいて前記相関関係を求め、

前記機種特定手段によって特定された機種の遊技用装置から収集された情報が存在しない場合は、前記仕様出力手段によって遊技用装置の仕様を機種ごとに出力させるとともに、前記代用機種特定手段によって特定された機種の遊技用装置から収集された情報のみに基づいて前記相関関係を求めることを特徴とする請求項 7 に記載の遊技管理システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

第1の発明は、遊技領域に発射された遊技球が所定の始動領域へ入賞すると始動入賞記憶として所定数を上限に記憶し、前記始動記憶を消化しながら補助遊技を実行するとともに、前記補助遊技の遊技結果に対応して遊技者に特典を付与する遊技用装置と、前記遊技用装置から遊技に関する情報を収集する遊技情報収集手段と、を備え、前記遊技用装置は、前記遊技領域に発射された遊技球の数を特定するアウト球数情報、前記始動領域へ入賞した遊技球の数を特定する始動入賞数情報、及び、実行された前記補助遊技の回数を特定する補助遊技実行回数情報を前記遊技情報収集手段へ出力する遊技管理システムにおいて

、前記遊技情報収集手段によって収集された情報に基づいて、前記始動領域へ入賞した遊技球の数と、実行された前記補助遊技の回数との相関関係を求める相関関係算出手段と、

遊技場が目標とする営業成績に関わる目標情報を入力する目標情報入力手段と、前記始動領域へ遊技球が入賞する頻度の設定値を、前記相関関係に基づき前記目標情報に対応させて算出する入賞頻度設定値算出手段と、を備える。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１５】

第１の発明によれば、遊技領域に発射された遊技球が所定の始動領域へ入賞すると始動入賞記憶として所定数を上限に記憶し、前記始動記憶を消化しながら補助遊技を実行するとともに、前記補助遊技の遊技結果に対応して遊技者に特典を付与する遊技用装置と、

前記遊技用装置から遊技に関する情報を収集する遊技情報収集手段と、を備え、前記遊技用装置は、前記遊技領域に発射された遊技球の数を特定するアウト球数情報、前記始動領域へ入賞した遊技球の数を特定する始動入賞数情報、及び、実行された前記補助遊技の回数を特定する補助遊技実行回数情報を前記遊技情報収集手段へ出力する遊技管理システムにおいて、前記遊技情報収集手段によって収集された情報に基づいて、前記始動領域へ入賞した遊技球の数と、実行された前記補助遊技の回数との相関関係を求める相関関係算出手段と、遊技場が目標とする営業成績に関わる目標情報を入力する目標情報入力手段と、前記始動領域へ遊技球が入賞する頻度の設定値を、前記相関関係に基づき前記目標情報に対応させて算出する入賞頻度設定値算出手段と、を備えることによって、遊技者の技量を考慮して単位始動入賞数と単位補助遊技実行回数との相関関係を算出し、この相関関係を用いて目標情報に対応する単位始動入賞数を算出することができるため、遊技者の技量の要素を加味したうえで遊技場における釘調整に有用な情報を取得できる。